

結 論

- 飲酒運転の常習性と多量飲酒・アルコール依存との関係が一般人でも確認された。
- 常習飲酒運転者に対する教育・治療システムの導入とその効果評価が必要である。
- 国民に対する、飲酒運転に関するさらなる教育・啓発が必要である。